

平成31年度 京都市立桂徳小学校 学校経営方針

めざす学校像

- ・子どもが毎日楽しく通いたくなる学校
- ・地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校

めざす教職員像

- ・一人一人の子どもを理解し、愛情をもって関わっていく職員
- ・研修や研究等、自己研鑽に励み切磋琢磨して高め合う職員
- ・明るく仲の良い助け合える職員集団

京都市の学校教育・目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

平成31年度 学校教育において重視する視点

- 子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。
- カリキュラム・マネジメントの視点のもと、PDCAを意識し、教育課程に基づき、組織的かつ計画的に日々の教育活動の向上を図り、子どもの姿や地域の状況に応じた創造あふれる取組を展開する。
※特に「家庭での自学自習の習慣化」を重点課題として取り組む

平成31年度 学校教育基本指針

「生きる力」を育む基本的な考え方 ～知・徳・体の調和のとれた育成

学校教育目標

心豊かに たくましく 自ら学ぶ子ども

～地域とつながり、笑顔輝く学校～

心豊かに	たくましく	自ら学ぶ子ども
人との出会いを大切にし、自然や命を尊重する	望ましい生活習慣について意識できる	問題意識をもって、楽しく学べる

豊かな心（徳）

- 支え合い高め合う集団づくりを推進する。
- 「けいとくあたりまえ」（あたりまえをふやす）
- 規範意識の醸成・育成を進める。
- 学校のきまり等について全教職員共通理解のもと指導を徹底する。
- 道徳教育の充実 「道徳」の時間を核として学校教育全体で取り組む。
- 豊かな感性・情操を育む教育の充実
- 人権意識を高める取組を推進する。

健やかな体（体）

- 早寝早起き朝ごはん等基本的生活習慣を定着させる。
- 運動やスポーツの実践と体力の向上を図る。
- 防災教育・安全教育を充実する。
- 自分の体や命の大切さを知る学習など保健教育を推進する。
- 食に関する指導を推進する。
- 部活動の取り組みを継続する。

確かな学力（知）

- 資質・能力を育成していくため各教科等で「言語活動」を充実させる。
- 家庭での自学自習の習慣化を目指した取組を推進する。
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を進める。
- ICT機器等を効果的に活用した学習活動を充実させる。
- 子どもの特性に応じた支援や教育を充実させる。
- 地域の人材や教材を生かした教育活動を開拓する。
- 結果としての学力（調査等）を分析し、指導の改善を図る。
- ユニバーサルデザインの視点での環境整備を進める。

学校運営の柱 ～全教職員で進める確かな学校教育～ ○子どもの命を守りきる。○すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める。

○教育者としての職責を自覚し、資質・指導力を高めるとともに、働き方改革を進める。○校種間連携・接続を推進する。○「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う。○保護者・地域と連携・協働した取組を推進する。○関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する。

めざす子ども像

けんこうで明るい子

けんをもち、学び合う子

もだちを大切にする子

りかえし何度も挑戦する子